



## 慢性腎臓病と貧血治療

腎臓内科部長

楊川 堯基



慢性腎臓病という病名を聞いたことがある方も多いかと存じます。慢性腎臓病は、2000年代以降に誕生した病名であります。以前から心臓と腎臓が相互に関連して病態に影響することは知られていましたが、2002年にアメリカ腎臓財団が慢性腎臓病を定義し、2003年にアメリカ心臓協会が慢性腎臓病は心血管疾患発症のリスクであるとの声明を発表したこともあり、世界的に慢性腎臓病の概念が定着しました。慢性腎臓病は、腎機能を重症度でステージ分類します。血液透析など、腎臓の代わりをする腎代替療法が必要となる腎不全はステージ5に該当します。現在、透析療法を受けていらっしゃる患者は、2020年末に日本透析医学会から公表された

2019年の統計では、全国で344,640人、茨城県で8,401人です。日本の透析療法は1967年から保険適用が認められ、先人達の努力により、世界的に見ても、最先端の透析医療が提供されております。透析療法は腎臓の代わりをする治療法ではありますが、腎臓の機能のすべてを代替することはできません。腎臓の機能としては、よく知られている老廃物の排泄のために尿をつくるほか、電解質・酸塩基の調節、血圧調整、ビタミンDの活性化および赤血球の製造を助ける機能もあります。血液を造る場所は骨髄であります。赤血球の産生に関しては、腎臓で造られるエリスロポエチンという造血因子が必要となります。一般に、腎臓の機能が低下すると、エリスロポエチンを造る力も低下します。また、貧血が進むと、腎臓自体の障害もまた進みます。貧血の改善は腎障害患者にとって、大事な治療であります。透析療法では、エリスロポエチン製剤を含む赤血球造血刺激因子製剤を注

射で投与します。エリスロポエチン製剤は、1990年に健保承認され、それまで貧血に対し、輸血以外での治療法がなかった透析患者に対し、生命予後の改善に多大な貢献をしました。そして約30年となる一昨年にエリスロポエチンと同様な作用をする内服できる薬が新たに登場しました。低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤という薬です。この薬の作用は、エリスロポエチン遺伝子を活性化し、貧血を改善する効果があります。低酸素誘導因子に関する研究は2019年のノーベル生理学・医学賞を受賞されており、基礎研究から一般の診療につながった重要な研究であります。慢性腎臓病と貧血の関係性についてご理解いただき、腎臓疾患を有する患者におかれましては、普段の受診では貧血のデータの推移についても、ご注意ください。ければと思います。



# ひたち野ステーションクリニック

1月18日にシニア向け分譲マンション「サンミットひたち野東ステーションフロント」の一階にオープンしました。当クリニックは、ひたち野うしく駅東口から直結で徒歩約2分の所にあります。オープンしてから現在まで、マンションに入居されている方から一般の方まで、様々な方が来院されています。マンションの一階にあるため、入居されている方だけが受診出来るのかとお考えの方がいらっしゃるかとは思いますが、マンション以外の方も受診可能です。

私達スタッフ一同、これまでの牛久愛和総合病院での経験や知識を活かし、地域の皆様に安心していただけるようなクリニックならではの医療を提供出来るように努めて参りたいと思っております。何か気になる症状など、ご心配な事がありましたら、お気軽にご相談下さい。

お電話でのご予約も可能です。また、新しく「アイチケット」が導入され、パソコンや携帯からでも事前の予約が可能です。完全予約とは参りませんが、コロナ禍の中、患者さん同士が密にならないように予約制度を御利用いただければ幸いです。

## 診療科目

内科・消化器内科

## 受診のご案内

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	×	○	○
14:00～18:00	○	△	○	×	○	○

**受付時間** 午前 8:45～11:45  
午後 13:45～17:45

※火曜日の午後のみ診療時間が  
14:00～17:30になります。

受付時間は13:45～17:15までです。

**休診日** 木曜、日曜、祝日

※事前にお電話かアイチケットで予約をお取りください。  
予約なしでの受診も可能です。

※予約または予約の変更のお電話は、診療時間内をお願い致します。

## 交通アクセス

JR常磐線  
ひたち野うしく駅東口直結 徒歩約2分



## DMカフェ

糖尿病・代謝内科 山口 純輝

皆さまいかがお過ごしでしょうか、コロナウイルス感染症のため、慌ただしい年末年始となりました、一刻も早く状況が落ち着くことを切に願います。

さて今回はアルコールと糖尿病の話をさせて頂ければと思います。アルコールにはストレス解消効果もあり、うまく使えばこのストレスの多い時代に有用であると考えられます。

では糖尿病患者さんにおける、丁度良い量とはどの程度なのでしょう。日本人では「適度な飲酒」は、男性でアルコール量が1日に20gぐらいまでだと考えられています。具体的には、ビール(中びん)1本(500ml)、チューハイレギュラー缶1本(350ml)、日本酒1合(180ml)、焼酎1杯(100ml)、ワイン2杯(120ml)、ウイスキー2杯(60ml)程と考えられます。

注意しなければならぬのは、アルコールを飲み過ぎてしまうと、糖尿病のコントロールが乱れ、高血圧や肥満のリスクも高くなってしまうことです。また、コントロール不良な患者さんが飲酒をされますと、さらにコントロールが悪くなってしまうことも考えられます。

主治医の先生と相談しながら、適度な飲酒を心掛け、過ごして頂ければ幸いです。

## 入職者

1月1日付

### ■看護師部

看護師 神田 幸恵

患者さんに寄り添う看護を目指し、笑顔で安心感を与えられるよう努めていきたいと思えます。

### ■栄養科

管理栄養士 高橋 知里

持ち前の明るさを活かして常に笑顔で患者さんに接して行くよう努力します。

1月16日付

### ■春秋園

### ■通所リハビリ

看護師 村上 小百合

多職種との連携を大切にし職員、利用者様との信頼関係を築けるよう努めていきたいです。

看護師 高橋 登志子

様々な方とのふれ合いを楽しみに、そして大切に配慮の心で務めていきたいと思えます。

### ■ケアサービス

介護福祉士 中島 美奈子

勤務環境に早く慣れて、笑顔をお客様にしながら利用者様と、より良い関係を築ける様努力します。

### 春秋園だより



残寒去りやらぬ日々でございますが、皆様お元氣にお過ごしでしょうか。このような寒い時期だからこそ、今回は入所利用者様と共に行った、「煮込みラーメン作り」の様子をお伝えしようと思います。

調理は午前10時から準備を行い、まずは材料の野菜を洗って切る工程から始まりです。利用者様は、慣れた手つきで「トントントン」と軽快に野菜を切っておられ、細かく

く食べ易い大きさにして下さいました。麺も同様に細かく切り、鍋と一緒に煮込みます。そして、仕上げに味付けをし、出来上がりです。

昼食時に皆さんに配って回り、「いただきます」と、食べ始めました。「美味しい」、「上手に出来た」と、皆さん本当に美味しそうに召し上がり、普段は残してしまう方も完食されている方がほとんどでした。中には食べ過ぎたのか、おやつや夕食を残してしまう方もいらつしやいました。

コロナ禍の今では出来る事が限られてしまい、毎年行っていた大きなイベントも、去年はそのほとんどが中止となつてしまいました。ですが、こうした小さなイベントでも利用者の皆様楽しんで頂けるのでしたら、私達は諦めず続けて行きたいと思っております。そして、一日も早くコロナウイルスが終息する日を願うばかりです。

(春秋園入所スタッフ一同)

### 部署紹介

#### 画像診断センター

副科長 佐野 朋宏

画像診断センターでは、X線を用いて肺や骨などの身体の内なる部位の撮影をする一般撮影、脳・心臓・腹部などの血管系の診断及び治療を行う血管造影、脳梗塞・脊髄損傷などの初期診断に欠かせないCT検査、強力な磁石を用いて全身の精密診断を行うMRI検査、予防医学を推進する健診業務など、多岐に渡る分野の業務を実施しています。

現在、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。日本においても様々な対策が施されていますが、いまだ終息していません。新型コロナウイルスの確定診断はPCRによる遺伝子診断が必須となる



CT室



MRI室

新型コロナウイルスに限らず、検査の内容などについて分からないことや不安なことが御座いましたら、画像診断センターまでお気軽にお尋ね下さい。

### Dr趣味リレー

歯科・口腔外科医 今井 琴子

私は幼少期から剣道を習っている。重くて臭い防具、動きにくい胴着、打たれてばかりで、昔は全然楽しくないと思っていた。が、高校生になり結果が出せるようになってくると、だんだんと次の目標に向かって稽古をすることが楽しくなっていた。大学での稽古は苦しく辛いことも多かったが、周囲に恵まれ、皆で支え合うことの大切さも学んだ。今でも剣道部の面々とは付き合いがあり、定期的に稽古会をしている。

この仕事も、元々興味はあったが、最終的には剣道部の先輩から誘われて入局を決めた。研修医の頃は深夜まで帰れなかったり、手術にも入らず、正直辛いと思った。手術に入った同期をみて、自分も早く手術に入りたい、と勉強した。その甲斐あってか、少しずつ手術に入れてもらえるようになり、処置も任せてもらえるようになり、仕事が楽しくなっていた。今ではすっかりこの仕事が好きになっていく。いまだに落ち込むこともあるし、辛いこともある。それでも、どうしたらより良くなるかを考え、ひとつずつ目標をクリアしていくことが楽しい。

剣道は、辛いことがあっても目標に向かって楽しみながら頑張ろう、と思えるきっかけだったと思う。今はコロナ禍にありなかなか稽古ができないが、落ち着いたらまた、次のステップを目指していきたいと思っている。

# 病院機能評価について

「病院機能評価」は日本医療機能評価機構による評価です。患者さんの命と向き合う病院には、その医療の質を担保するために備えているべき機能があります。

公益財団法人として1955年に設立された日本医療機能評価機構は、病院が備えているべき機能について中立・公平な専門調査チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

約90項目の病院機能を評価専門調査者が審査し評価しています。評価する項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供しているか」、「病院全体の管理運営体制は整っているか」など、約90項目があります。

信頼できる医療を確保することを目的に、専門調査者が病院



の機能を評価し、その病院の課題を明らかにすることによって医療の質改善を進めるものです。

当院は初回2005年認定以来、昨年10月に4回目の更新となる病院機能評価を受審した「認定病院」です。

今後も、質の高い医療の提供ができるよう、「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」の三本柱を理念とし職員一丸となってその向上に取り組んで参ります。(総務部長 藤咲耕一)

**編集だより**

立春を過ぎ暦の上では春といってもまだまだ寒い日が続いていますね。不安な日々も続いています。梅の便りが待ち遠しいですね。(C・K)

**ホームページをリニューアルしました。**

より充実した内容にして参りますので、どうぞご利用ください。

**病院理念** 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

**病院概要**  
病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

**施設**  
敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



## 診療科目

### 【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

### 【専門外来】

内科 (禁煙外来)  
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)  
小児科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)  
皮膚科 (レーザー外来)  
外科 (下肢静脈瘤外来)  
ストーマ外来  
そけいヘルニア専門外来  
透析外来  
内視鏡検査  
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会 **救急 24時間**

# 牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

### 《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 人工透析センター
- 地域リハ・ステーション
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
- ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
- 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

